



特集
ふるさとの「食」を味わう ～食育・地産地消～

木のぬくもりと陽だまりの中で

10月31日と11月1日の2日間、「大江町の博覧会 シェイク ラボ SHAKE LAB 2015」が開催され、町内の3つの会場で町に関するあらゆるものが集まりました。その中のひとつ、山里交流館「やまさあーべ」内の「So-tennen」のブースは、木のはがき作りなどを体験できるほか、木の醸し出す柔らかな雰囲気の中で、ブナの実とハーブティーで安らぎのひとつときを過ごせる空間となっていました。

平成27年

11

No.657

安全・安心「ラ・フランス」現地交流会
ラ・フランスを試食する大江幼稚園の園児たち



ふるさとの

「食」

を味わう

食育・地産地消

「食」は、健やかで豊かな生活を送るうえで欠かせない、生きるための根幹となるものです。「食」への理解を深め、健康な心身を育む「食育」を進める取り組みも、全国でさかんにおこなわれています。そして毎日の食生活を支えているのは、新鮮でおいしい食材を生み出す農業。ふるさとの「食」を楽しみ町を盛り上げていく、食育と地産地消のための取り組みを、「大江町食育・地産地消推進計画」の概要とともにご紹介します。

「食」が心と体を

「育」てる

日本人の生活スタイルは、時代とともにあらゆる面で様変わりしてきています。なかでも健康な体づくりの基本である食生活の変化がもたらす影響は大きく、食品の大量供給と大量消費、欧米型のメニューや外食の定着、生活リズムの不規則化といった現代の暮らしの特徴が、栄養バランスの乱れや運動不足などの健康問題を生じさせる一因となっています。

一方で、近年では食品の安全・安心への要望や、全国各地のご当地グルメへの関心などから、人々の「食」に対する意識が高まっている傾向もあります。「食」についての学習を教育に取り入れる「食育」という言葉も、よく耳にするようになりました。

平成17年に制定された食育基本法の前文において、食育とはさまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を身につけ、健全な食生活を実践できる人間を育てることであると定められています。そして食育の目的は、国民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな

人間性を育むことだとされています。食事の時間は、一日の中でも心安らぐ憩いのひとときです。おいしく栄養バランスのとれた食事を楽しく味わって食べることは、充実した毎日を送るための心と体のエネルギー源になります。

また、食生活には地域の特性や伝統が色濃く表れており、そうした固有の食文化を子どもたちに、そして後世に伝えていくことも、現代に生きる私たちが担うべき重要な役割だといえます。

「食」の将来を支える

協働体制

国民運動として食育を推進しているという国の動きを受けて、本町でも平成22年3月に「大江町食育推進計画」を策定し、これまで各種食育活動を実践してきました。しかし、計画期間である5年の間にも生活様式のさらなる多様化が進んでおり、さまざまな課題が浮き彫りになっています。

食生活の充実を支えている農業も、農家人口の減少や後継者不足といった大きな問題を抱えています。その打開策のひとつとして、地域でこれ

た農産物をその地域で消費する「地産地消」の取り組みが始まっています。地産地消の推進による地元農産物の利用拡大は、生産者自らが加工と販売をおこなう6次産業化などの新たな可能性につながると考えられています。

こうした現状を踏まえて、今後町がおこなうべき食育と地産地消の推進の方向性を示す新たな計画の検討作業が進められ、今年3月に「大江町食育・地産地消推進計画」が策定されました（策定委員会委員長・奥山由美子本郷東小学校長）。「お米も野菜も果物も おいしい えがおの



町の食生活改善推進員を養成する講習会。10月16日におこなわれた第6回講習会では、山形グランドホテル総料理長・林浩生先生の指導により、フレンチに挑戦しました。



「やまがた地鶏胸肉のオレンジソース煮」のできあがり。地元の食材が、本格フレンチに大変身！

より良い「食」の姿を 目指して

「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、本町で食をおとした生涯における健康づくり活動を推進しているのが、大江町食生活改善推進協議会（伊藤昌子会長）です。家庭訪問でのみそ汁の塩分チェックやロコモ予防のための健康教室など、

「食」に関わるあらゆる人々が協働し、心身の健康増進と地域経済活性化を目指す取り組みが進んでいます。

さまざまな活動を実践しており、これらは食育・地産地消推進計画に盛り込まれた地域に密着した取り組みとしての側面もあります。

また、会員である食生活改善推進員は、地域の食育推進を担う「食育アドバイザー」としての役割もあわせ持っており、地産地消の推進、郷土料理や食文化の継承という観点からも、地域の健康づくりを進めています。

子どもたちに

「食」を伝える

「大江町食育・地産地消推進計画」の中では、家庭、保育園・幼稚園、学校、生産者、商工業者など、それぞれの分野ごとの役割と、それに基づく取り組みの内容が示されています。その中で、町の将来を担う子どもたちを預かる保育園・幼稚園と学校の役割はとりわけ重要なものとなっております。

平成20年に改正された学校給食法では「学校における食育の推進」が目的として位置づけられ、小中学校を中心に食育のいっそうの推進が図られています。また、幼稚園教育要領、保育所保育指針においても、食

育の意義は明確化されるようになっていきます。

本町でも、小学校への栄養教諭の配置、食育キャラクター創出などの各種食育の実践をおこない、給食の献立に地元でとれた農産物を積極的に取り入れるなど、学校における食育の実施に力を入れています。自然の恵みや食に関わる人々への関心と理解を深め、自然や人に感謝する心を育てること、郷土料理や地元産の食材を用いた料理に触れて地域の食文化を学ぶことも、これからの取り組みの中で重要なポイントとなります。

そして保育園や幼稚園に通う子どもたちは、成長が著しく人間性の形成に重要な乳幼児期にあり、生活リズムや望ましい食習慣を身につけるうえで大切な時期を過ごすこととなります。そこで、家庭との連携のもとで、適切な食事のとり方ができるように取り組んでいく方針を示しています。

また、地元の農家などの生産者も、小学校の児童や保育園・幼稚園の園児たちを対象にした食育のための活動をおこなっています。こうした流れを継続するためにも、各分野の連携を深めていく必要があります。

園児たちの「つるり里芋」体験！

農協青年部大江支部では食育推進のための取り組みとして、今年さくら保育園の園児を対象に「つるり里芋」の定植と収穫を体験する企画を実施しました。大きく育った里芋を収穫したあとは、その里芋を使った芋煮会を開催。園児たちは自分が植えた里芋をおいしそうにほおばっていました。

5月13日：定植



10月8日：芋煮会



10月1日：収穫



▲口の中に広がる甘みと、柔らかい食感が特徴の「つるり里芋」。「ふわふわでおいしい！」と、園児たちも大満足でした。やっぱり、自分で植えて収穫した里芋は一味違う？

食育・地産地消推進の重点目標

(『大江町食育・地産地消推進計画』より)

スローガン

お米も野菜も果物も おいしい
えがおの おおえまち



大江町食育推進
マスコットキャラクター
「大江らあな」ちゃん

① “食を楽しむ” みんなで食を楽しもう！

みんなで一緒に楽しく食べることが食育推進の基本であることから、家族団らんなどみんなで食卓を囲むことを心がけ、食を楽しむ多くの場面をつくっていきましょう。

② “食を感謝” 食事のあいさつを心がけよう！

食べるまでには豊かな自然による恩恵のほかにも、生産者や加工・販売に携わる方など多くの人々の苦労や努力があります。「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつを常に心がけ、感謝の気持ちを忘れずに、食事を大事にいただきます。

③ “食を改善” 食生活のリズムを整えよう！

食は生命の源であり、心身の健康と豊かな人間形成に欠かすことの出来ない柱でもあります。健全な食生活に必要な知識と判断力を養い、早寝・早起きと日に3度の食事をする生活リズムを身につけ、食生活から健康づくりを進めましょう。

④ “食を気づかう” 食による健康づくりに取り組もう！

乳幼児期から高齢期までの食による健康づくりに関心を持ち、健康に配慮したバランスのとれた正しい食事と日ごからの運動習慣を心がけるなど、食と健康の密接な関係を正しく理解し、実践しましょう。

⑤ “食を知る” 食文化を知り、守り、伝えていこう！

本町には米や野菜、果物などのおいしい作物がたくさんあり、長年地域に受け継がれてきた郷土料理や伝統料理があります。家庭や地域、さまざまな催しなどでの経験をとおして地元の食材や郷土料理に触れる機会を増やすとともに、郷土を愛する心を養いましょう。

⑥ “食を味わう” 町の農を知り、地産地消に取り組もう！

食の安全・安心が求められている今、生産者と消費者のより深い信頼関係が求められています。「食」と「農」に携わる者同士の交流などを通して、農業への理解を深めていくことも重要です。地元農産物の活用による地産地消の取り組みを一層拡大し、地域活性化と産業振興を進めていきましょう。

わが町の「食」を
盛り上げる

昨今の「食」への意識の高まりから、食品の安全性が強く求められるようになりました。「地産地消」のメリットのひとつは、地域の生産者がつくる新鮮な食材を、消費者が安心して購入できるという点にあります。消費者は地元産の農産物などを多く消費することによって生産者を支え、地域経済の好循環が生まれることにもなります。生産者と消費者の「顔の見える」交流、そして現在も実施されている保育園・幼稚園・学校などと連携した農業体験などの機会を今後さらに拡充していくことが期待されています。

本町には米や野菜や果物はもちろんのこと、豊かな自然の中で育つたやまがた地鶏、月布川と最上川で獲れる鮎、山菜やきのこといった山の幸など、魅力的な「食」の素材が豊富にあります。

それぞれの旬をとらえて町内各地でイベントが開催されていますので、地域の大きな魅力のひとつとしての四季折々の旬の味覚を楽しみ、「食」について考える機会としてみてはいかがでしょうか。

いよいよ誕生！ 藤田地区住宅団地

若い世代をターゲットにした移住促進と、人口流出の抑制を図るための取り組みとして計画を進めてきた藤田地区住宅団地が、まもなく完成します。

11月1日には購入希望者に向けた現地見学会がおこなわれ、分譲申し込みの受付についても同日より開始しています。現地見学会には多くの家族連れが訪れ、住環境を確認し、宅地の大きさなどを熱心に見学していました。



▲11月1日におこなわれた現地見学会の様子



藤田地区住宅団地の概要

- ◆分譲区画／20区画
- ◆坪単価／53,300～58,200円 (3.3㎡/坪)
- ◆分譲面積／約72～100坪
- ◆公共下水道汚水柵設置
- ◆団地内道路／幅員6mまたは7.5m
- ◆交通アクセス／山交バス藤田停留所から徒歩1分、左沢駅から徒歩12分、道の駅から徒歩12分
- ◆学区／左沢小学校(約1.2km) 大江中学校(約2.2km)

購入者にうれしい4つの特典

特典1 子だくさん交付金 最高100万円

義務教育就学前の子どもを持つ子育て世代が分譲地を購入し、住宅を建築、入居(住民票を異動)した場合、子どもの人数にあわせて土地購入価格の5～20%に相当する額(500円未満切り捨て)の町商品券を交付します。

特典3 大江町型住宅建築奨励補助金 100万円

大江町型住宅で住宅1棟を新築し、入居(住民票を異動)した場合、100万円を補助します。

※いずれの特典も、平成33年3月31日までに住宅を新築し、入居した世帯が対象となります。
※特典の内容などが変更となる場合もあります。

特典2 早得交付金 50万円

分譲契約締結日から2年以内に住宅を建築し、入居(住民票を異動)した場合、50万円を交付します。



特典4 温泉入浴パスポート (3年間無料入浴)

購入世帯の家族全員に3年間無料でテルメ柏陵健康温泉館、柳川温泉で入浴できるパスポートをプレゼントします。

■突然の災害に備えて ～平成27年度 大江町総合防災訓練～

防災意識の高揚と災害時の適切な応急対策のための総合防災訓練が、10月4日に本郷東小学校で実施されました。今回の訓練は消防団第3分団管轄の本郷地区を対象とし、地区民や消防関係者など約320人が参加。山形県内陸部を震源とする震度6強の地震が発生したとの想定で、各種訓練がおこなわれました。

訓練の内容は、水と粉末の2種類の消火器を使用した初期消火や、煙が充満した建物からの避難、アルファ米を調理する炊き出しなどで、昨年、一昨年に起きた豪雨災害の記憶が生々しく残る中、参加した皆さんは真剣な表情で訓練に臨んでいました。



▲初期消火訓練



▲炊き出し訓練



▲濃煙内避難訓練



▲応急手当訓練



■新たな「農」の担い手に ～新規就農希望者現地見学会～

大江町就農研修生受入協議会（OSINの会）は、町内での就農を希望する方のための現地見学会を10月17日～18日におこないました。この日参加したのは神奈川県や茨城県からの希望者6名で、昨年独立就農した橋本光弘さん（伏熊）や会長の渡辺誠一さん（塩野平）、受け入れ農家の阿部藤一郎さん（堂屋敷）の果樹畑を見学しました。

参加者は、農産物の生育状況や町の気候など、農家の方からさまざまなお話を伺い、就農への意欲を高めていました。

善意いただきました

さがえ西村山農業協同組合および全国共済農業協同組合連合会山形県本部より、10月29日に町へ4基のカーブミラーを寄贈していただきました。

カーブミラーは各地区からの要望を踏まえて町内各所に設置し、安全性の向上のために活用させていただきます。



▲今年度藤田区に設置されたカーブミラー

3歳児 Smile Photo

10月2日に3歳児健診を受けた元気なちびっ子たちを紹介します! (順不同)



きくち れあ 菊地恋姫ちゃん
諏訪原



わたなべえいと 渡邊瑛斗くん
諏訪原



すずき たいせい 鈴木泰成くん
榎山



さとうゆうり 佐藤悠燈くん
山崎



いとうかのん 伊藤歌音ちゃん
小見



いとうはるま 伊藤悠真くん
若原



きくちりゅうせい 菊地竜生くん
2区



せい の し おん 清野史穂くん
堂屋敷



いがらしなあと 五十嵐治人くん
富沢



すずきのぞみ 鈴木希実ちゃん
顔好



おおもりそつせけ 大森創介くん
山崎



しらたらいり 白田来莉ちゃん
藤田



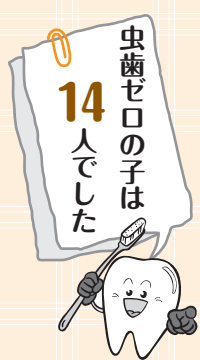
わたなべ ゆづき 渡邊結月ちゃん
美郷



わかつき ゆあ 若月優杏ちゃん
1区



こうへい きらら 公平希良々ちゃん
美郷



ないとうじゅじゅ 内藤樹々ちゃん
1区



おくやまはるま 奥山陽大くん
美郷



まつきりかり 松木氷光くん
藤田



かわぐちたつや 川口達也くん
9区

※お問い合わせは、健康福祉課 ☎(62)2114まで



マイナンバー通知カードについて



マイナンバー制度の開始にともなって、皆さんの個人番号をお知らせする「通知カード」が、10月下旬から順次郵送されています。平成28年1月から、各種手続で個人番号の記載・確認が必要になりますので、お手元に届いた通知カードは大切に管理してください。

また、窓口での本人確認や税の電子申告などがおこなえる「個人番号カード」の交付を受けることもできます。希望される方は、通知カードに同封されている申請書に顔写真を添えて郵送で申請してください。

※通知カードについてのお問い合わせは、マイナンバー総合フリーダイヤル☎0120(95)0178、または税務町民課戸籍年金係☎(62)2113まで

個人番号カードの交付を受けるには

10月～12月

個人番号カード交付申請書に記入顔写真を添付し、同封の封筒で返送

平成28年
1月～

役場より交付準備ができた旨の通知ハガキを送付

本人確認書類・通知カードを役場窓口へ持参し、個人番号カードを直接交付

マイナンバー制度に便乗した犯罪にご注意ください！



⇒こんなときは「188」番へ！

マイナンバー制度に便乗した不正な勧誘や、個人情報取得しようとする電話などに関する相談が、全国で寄せられています。

国の関係機関や町の職員などが、口座番号や暗証番号、所得や資産、年金などの情報を聞いたりすることは一切ありません。

マイナンバーに関する不審な電話を受けた時は、まず役場や消費者ホットライン「188」番に気兼ねなくご相談ください。消費者ホットラインは、消費生活に関する身近な相談窓口を案内する全国共通の電話番号です。マイナンバー以外の消費生活問題も受け付けています。

※お問い合わせは、総務課危機管理係☎(62)2187まで

ペットを飼っている皆さんへ ～人と動物のより良い関係を～

ペットなどの動物は、私たちの生活をさまざまな形で豊かにしてくれる、かけがえのない存在です。しかし、一部では動物の虐待や遺棄、鳴き声や悪臭といった近隣への迷惑などが問題となっています。

ペットを飼うことは、動物の命を預かるとともに、社会や近隣に迷惑をおよぼさないようにする責任も伴うものです。人と動物のよりよい関係を実現するために、飼い主としてのモラルとマナーを守って、ペットとの楽しい時間を過ごしましょう。

ペットを捨てるのは犯罪です！

愛護動物(*)をみだりに虐待したり捨てたりすると、「動物の愛護及び管理に関する法律」の規定により200万円以下あるいは100万円以下の罰金が科せられます。動物は「命ある」存在です。その「命」に愛情を持って接し、最後まで責任を持って飼いましょう。

*愛護動物とは、牛、馬、豚、めん羊、山羊、犬、猫、いえうさぎ、鶏、いえばと、あひるのほか、それ以外で人に飼われている哺乳類、鳥類、爬虫類に属する動物のことです。

むやみに数を増やさないように！

ペットの飼育にかけられる時間、空間には限りがあります。ペットの数をむやみに増やしたり繁殖させたりすると、適切に飼うことができなくなります。殺処分される子猫や子犬の数は、毎年数万頭にもなります。すべての命に責任が持てないのであれば、不妊去勢手術などの処置をおこないましょう。

周囲への危害や迷惑を防止しましょう

ペットの排せつ物による悪臭や毛などの飛散で、近隣の生活環境や公共の場所を汚さないようにしましょう。また、人に危害を加えたり、鳴き声などの騒音で近隣に迷惑をかけたりしないよう、適正なしつけや訓練をしましょう。

※お問い合わせは、総務課危機管理係☎(62)2187まで





10/4 レトロな世界へタイムスリップ?

愛好家の自慢の車が大集合する「クラシックカー&古い街並 in おおえ2015」が、10月4日に開催されました。このイベントには県内外から75台のクラシックカーが集まり、横町・内町・原町通りにその雄姿がずらりと並びました。

今回披露された中で最も古い車は、1950年製の「MG TD」。ほかにも往年の名車やユニークな外観の車が勢ぞろいしました。訪れた人々は、レトロな街並と懐かしのクラシックカーがおりなすロマンティックな壮観に、何度も足を止めて見入っていました。



10/24 40年の歩みと未来への決意

大江中学校が今年で創立40周年を迎え、記念式典が10月24日におこなわれました。式典では3年生の井上真純さん（8区）が生徒を代表して、「先輩方の残した伝統を受け継ぎ、50周年、100周年を迎えても町の人が誇れるような学校にしていきたいです」とあいさつしました。

また、この日は年に一度の「飛翔祭」が開催され、飛翔太鼓やまめざわ踊りが披露されました。午後の合唱コンクールでは、各学級がこれまで練習してきた歌を発表。一人ひとりの思いのこもった歌声に、会場は感動に包まれました。



10/11-25 地域の温泉 愛されて20周年

地域の皆さんや町外より来られる方々から憩いの場として親しまれている、テルメ柏陵健康温泉館が今年で20周年を迎えました。さらに10月10日には入館者550万人を達成。この節目を記念して、10月11日に感謝イベントが催されました。この日は入浴料が無料となったほか、コンサートなども開かれ、多くの来場者でにぎわいました。

また、10月25日には同じく20周年となる柳川温泉で秋のおおえ柳川温泉まつりが開催。「でわかおり」の新そばが振る舞われ、訪れた皆さんは手打ちそばの食感と味わいに舌鼓を打ちました。



10/25 みんなでトリック・オア・トリート!

おおえ国際交流協会が主催する「おおえハロウィンパーティー2015」が、10月25日に東地区公民館でおこなわれました。ハロウィンは古代ケルト人の祭りを起源にもつ欧米の民間行事で、10月下旬の楽しいイベントとして日本でも広まりつつあります。

この日は58人の子どもたちと保護者が、かわいい妖精や怖いお化け、映画のキャラクターなどに仮装して参加。西川町のALTであるジョー先生とジェーン先生と一緒に、いろいろなゲームを楽しみました。

10/11 勝利の願いとタスキをつなぐ24km

秋の彩り豊かな町内を駆け抜ける、第36回大江町縦断駅伝競走大会が、10月11日に開催されました。今大会は町内各地区から10チームが参加。雨も心配された寒空の中、柳川温泉前から中央公民館まで約24kmのタスキリレーの幕が切って落とされました。

レースは上位陣が頻繁に入れ替わる展開となり、沿道からの熱い声援を受けた選手たちは、次の選手に上位でタスキをつなぐべく、必死の走りを見せていました。



《大会結果》

優勝／本郷西 … 1時間22分45秒
 準優勝／本郷南A … 1時間25分05秒
 第3位／本郷東 … 1時間25分35秒



10/11 心に響く姉妹のハーモニー

ソプラノ歌手・佐藤容子さんとメゾソプラノ歌手・佐藤寛子さんの姉妹デュエット「シュガーシスターズ」のコンサートが、10月11日に東地区公民館で開かれました。山辺町出身の佐藤さん姉妹は、それぞれが日本歌曲の分野で日本一を受賞し、高い評価を得ています。

この日は「赤とんぼ」などの童謡をはじめ、さまざまな日本の唱歌を披露。伸びやかな歌声と息の合ったハーモニーで来場者を魅了しました。最後は約320人の聴衆と一緒に「ふるさと」を大合唱し、コンサートを締めくくりました。



10/15・16 山里に映画館がやってきた

山里交流館「やまさあーべ」で映画上映をおこなう「七軒映画祭」が、10月15日と16日の2日間にわたって催されました。この上映会では、海外のドキュメンタリー作品のほか16ミリフィルムのアニメ映画も公開されました。

2日目には山形国際ドキュメンタリー映画祭2013に出品された『デノクとガレン』が上映され、この作品を手がけたインドネシア出身のドゥウィ・スジャンティ・ヌグラヘニ監督も登場。観客からは登場人物のその後や次回作の構想などについて、いろいろな質問が飛び交いました。

古ぼけた野球帽、黒っぽい薄汚れたジャンパー、眠そうな風采で、朝の6時半ごろ、40年前の車で山道を走った。道路に1台の自転車と物差しで測ったように「平行直角」な駐輪で、まさしく日本の美学だ。山も青い。

人間が立って歩けるようなトンネル状の緑の葉っぱ。インゲンの栽培なのか、中にうっすらと人影が見える。車をトンネルの出口の真横に止めた。見れば、一生懸命「ささぎ」の収穫中のご婦人。頭には真っ白い手拭いで「あねさんかぶり」、腰には幅広ナイロンバンドで編んだ「はげこ」、足元の長靴もカラフルだ。「かっこいいな」若い方々、特に若い女性だったら、きつこう叫ぶに違いない。「カワイイ」

トンネルをこちらの方に歩いてきて、頭に手をやって手拭いを取り「おはようございます」と挨拶を受けた。笑顔も素敵だ。帽子も取らずに、ぶっきらぼうに、作業中のご婦人に大声で「おはよう」と声をかけた自分に、「0点」をつけた。不遜の極みだ、言い訳できない。透き通る爽やかな秋の風、スキのゆらぐ穂先で休む赤いトンボ。「20点」でいいんじゃない、と言ったかどうか。何も言わない。

「行儀作法が懇勤無礼と紙一重」だ、と語る方もいる。形式にとらわれるか、形式を無視するか……行儀と作法は、「小笠原流」とまでは言わないが難しい。10歳先輩のご婦人から、大きな教えを頂いた朝であった。ダンケ シェーン。

大江町長 渡邊 兵吾

左澤重要文化的景観

シリーズ企画 町の魅力発見！ vol.27

原町通り沿いに建ち並ぶ商店の一角に、菊地靴屋があります。通りに面して短冊地割上に建てられた店蔵が、城下町としてつくられた町の構造と、舟運による発展を経て展開した左沢町の暮らしをよく表しています。

菊地靴屋は江戸時代から続いているという西村山郡でも古い靴屋であり、現在の当主で11代目と伝わります。通りに面して建てられた妻入りの店舗は、二階屋根が入母屋造りになっており、これは五十嵐家などと同じく原町に多く見られる特徴で、店頭を飾るシンポル的なデザインといえます。下見板張り仕上げの二階部分は、一階より後退した造りになっていて、二階側面には、唐破風屋根の載った珍しい出窓が見られます。左沢大火後の昭和11年の竣工で、建築当時の姿をよく残しています。

菊地靴屋と隣接する原町通り沿いには昭和期以前の建築が町並みを形成しており、地区の歴史を的確に今に伝えています。

菊地靴屋



短歌

敬老日孫の贈り来し多機能杖に吾を氣遣う優しさ添えて

菅井 妙子

孫の住む四年振りにて小田原へ初冠雪の富士山見ゆる

佐竹磨砂湖

クアアと群れなす白鳥冬連れし今年も始まる冬の戦い

長岡かつ子

若き日の旅に求めし滝桜来季も観たし齡を忘れて

菊地つねよ

日の匂ひ落葉の匂ひに包まれて一人行くな古里の野を

山家 重之

若くして病に伏して旅立ちぬ惜しむ亡骸静かにおさむ

佐竹 與鼓

中天に中秋の月皓皓と人工衛星ひむがしをゆく

齋藤 徳治

俳句

古池の苔むす石に秋時雨

菅井 妙子

吹く風と柔光うけてすすき揺れ

鴨田富士夫

いわし雲空一面の露天ぶる

今井 茂樹

その昔叔母と眺めし菊人形

山家 重之

銀色にさざ波ゆれし良夜かな

阿部 一風

秋の雲日の落ちるまで見てあたし

金子脩一郎

移動車に秋刀魚一匹買ふ日和

清野今日子

長き夜のたら・れば五題歴史観

熊谷 勉

一斉に刈田となりし日曜日

安藤 桂花

山間に熟柿一樹のありにけり

舟山 三男

水澄みて慈恩寺の鐘鳴り渡る

伊藤 啓泉

吟遊浪漫

ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。



Youthful トーク

山形市の建築資材販売会社で営業事務をしている清野さん。今年、社会人として3年目を迎えました。建設会社などからの要望を電話で受け付け、発注者の希望に合った資材を届けられるように段取りをするのが主な業務。日々たくさんの注文が舞い込むため、ミスがないように心がける苦心の毎日です。

「建築や設備の仕事は、外観だけでなく目に見えないところまでしっかり作っている、まさに縁の下の力持ちだと思います。現場で休みなく働いている人たちのことを考えると、私ももっと頑張らなくちゃ、と思うんです」

就職してからは、建物を作った人たちの苦勞を思っ、大事に使わなければいけないと考えようになったそうです。

「お客さんから信頼されて、『あの人に頼めば大丈夫だ』と言ってもらえるようになりたいです」と、将来の目標を元気に語ってくれました。

清野ひかりさん (21歳・堂屋敷)

現場で働く人の力になりたい

地域おこし協力隊通信 No.17



着任して4ヵ月が経ちました。山菜がちょうど終わる頃に着任した私は、「おいしい自然の恵みも来年までおあずけかぁ…」と思っていたら大間違い。太陽の光をいっぱい浴びた味の濃い夏野菜、秋には胡桃やきのこ、栗に山葡萄など、毎晩作業に追われました。こんな夜更かしの仕方も楽しいなぁと素直に感じた大江町の秋。地域の父さんやお母さんに教わった漬物やジュースは、10月15日、16日に山里交流館“やまさあーべ”を会場におこなわれた七軒映画祭にてお茶菓子として提供させていただきました。

旬のものを旬の時期に食べることは栄養学的にもとても価値のあることです。そんな栄養たっぷりおいしい食材を作ることができ、手に入れやすい環境にあるのはこの町の大きな魅力だと思います。間もなく長い冬がやって来ます。この雪深い地で初めて過ごす冬に少々不安を感じながらも、春から秋にかけての冬支度がどう活用されるのか、今から楽しみです。

地域おこし協力隊 野木桃子



←七軒映画祭にてお茶菓子の提供



↑やまさあーべにて青芋のクッキー作り

お知らせ

Information

高齢者世帯などの雪下ろし・玄関除雪支援について

高齢者や障害者の冬期間の暮らしを守るため、雪下ろしや玄関除雪の支援をおこないます。

◆支援対象世帯(全てに該当)／①大江町民で実際居住している世帯②町民税(所得割)非課税世帯③高齢者や障害者のみの世帯、または自力で雪下ろしなどができない世帯④子や親戚などから雪下ろしなどの支援(経済的支援を含む)を受けられない世帯

◆支援の内容／住宅の雪下ろし、それに伴う住宅周辺の除排雪、除雪車通過後の玄関の除排雪作業に要した費用の一部を支援

◆支援額／対象経費の9割

※雪下ろしの対象経費は1回2万5千円が上限で、3回分までが対象です。玄関除雪の対象経費は2万4千円が上限で、回数制限はありません。

◆留意事項／①店舗、農作業小屋、倉庫、車庫、他人に貸している住居

は支援対象になりません。②雪下ろしなどの依頼は、必要な時期に直接事業者などに依頼してください。③できる限り、子や親戚などの方のご協力をお願いします。

◆利用申請／申請書は11月24日(火)まで地域の担当民生児童委員にお届けいただくか、11月27日(金)まで健康福祉課へご提出ください。申請書は地域の民生児童委員または健康福祉課に準備しています。

※お問い合わせは、健康福祉課係 ☎(62) 2285まで

「親世代のための結婚応援セミナー & 相談会」を開催します！

未婚化・晩婚化が進む中、お子さんの結婚に関して不安や悩みをお持ちの親御さん向けに男女のコミュニケーション、婚活のスペシャリストである佐藤律子先生をお招きしてお子さんを上手に婚活させるためのアドバイスをお聞きします。

◆日時／12月2日(水) 13時15分～16時(受付13時)

◆会場／ホテルキャッスル 2階「弥生」(山形市)

◆内容／○講演「SNS世代の若者の恋愛、結婚とは」親世代の寄り添い方を考える(講師 株アートの)

依存症家族教室のご案内

依存症全般(アルコール、薬物、ギャンブルなど)に関する問題にお悩みのご家族20名程度を対象に、下記の内容で実施します。

	日時	内容
第1回	11月24日(火) 14:00～15:30	講話「依存症の理解」 講師：佐野琢也氏(二本松会上山病院 診療科長) 質疑応答や情報提供 (1回目のみ、悩んでいるご本人も参加可能です)
第2回	12月2日(水) 14:00～15:30	講話「依存症患者との関わり方」 講師：小関清之氏(斗南会秋野病院 精神保健福祉士) 質疑応答や情報提供
第3回	12月7日(月) 14:00～15:30	講話「依存症からの回復者とその家族の体験談」 ・アルコール依存症からの回復者 ・ギャンブル依存症患者の家族 質疑応答やフリートーク、情報提供

※家族教室は3回シリーズで開催しますが、1～2回だけの参加も可能です。

- 会場：山形県精神保健福祉センター 3階会議室
- 参加費用：無料
- 受付時間：平日9:00～17:00
- ※お申し込み・お問い合わせは、山形県精神保健福祉センター ☎023(624)1217まで
(お申し込みの際は「家族教室への申し込み」とお電話ください)



セレモニー代表取締役社長・結婚情報誌「アートのプライダル」編集長

佐藤律子氏) ○「やまがた縁結びたい」による個別相談会(定員50名)

※定員を超えた場合はお断りさせていただきます。ご了承ください。

◆対象者／未婚のお子さんをお持ち

の親御さん

◆申込方法／電話またはFAXにてお申し込みください

◆募集締切／11月16日(月)まで

※お申し込み・お問い合わせは、山形県子育て推進部子育て支援課 ☎023(630)2668、FAX

「孫育て講座」開催のご案内

お孫さんの面倒をみている方・もうすぐお孫さんがお生まれになる方、また孫育てに興味のある方を対象に、孫育て講座を開催します。講座をとおして、孫育てのヒントに触れてみませんか。読み聞かせに興味のある方もぜひご参加ください。

◆日時/11月21日(土) 10時~11時30分 ◆場所/東地区公民館 和室

◆内容/・講演「あったか読み聞かせ講座~絵本で楽しむ孫育て~」

講師 渡邊 裕子 氏

(「お話とつくって遊ぼうの会 紙ふうせん」代表)

・保健師講話、子育て支援センターの紹介など

※お申し込みは、健康福祉課保健衛生係 ☎(62)2114まで



12月4日から10日は
人権週間です!

023(632)8238まで

人権週間に先駆けて、左記の事業をおこないますのでお知らせします。困りごと、心配ごとがある時はひと

りで悩まず、お気軽にご相談ください。秘密は厳守します。

【人権なんでも相談所】

◆期日/12月5日(土)10時~15時

◆会場/フローラS.A.G.A.E 4階

(寒河江市)

※法務局職員と人権擁護委員が相談に応じます。

【人権相談】

◆期日/12月7日(月)13時~15時

◆会場/役場102会議室

※人権擁護委員が相談に応じます。

【人権書道展】

◆期間/11月28日(土)~12月9日

(水)

◆会場/東地区公民館ロビー

是非ご覧ください!

※お問い合わせは、税務町民課戸籍年金係 ☎(62)2113まで

山形県最低賃金の改正について

◆山形県最低賃金/1時間696円(16円アップ)

◆効力発生日/平成27年10月16日

この最低賃金は、県内で働くすべての労働者に適用されます。

※お問い合わせは、山形労働局労働基準部賃金室 ☎023(624)8224まで

西村山・北村山地域議員協議会を開催します

県議会では、それぞれの地域の課題や施策などについて地元議員が審議をおこなう地域議員協議会を開催します。県議会の活動を身近で傍聴できる良い機会ですので、傍聴を希望される方は当日会場でお申し込みください。

◆日時/11月20日(金)10時~(9時30分)受付)

◆場所/村山総合支庁西庁舎 講堂

(寒河江市)

※お問い合わせは、県議会事務局政策調査室 ☎023(630)2725まで

「国際理解実践フォーラム2015」の開催について

国際理解や多文化共生に興味・関心のある方ならどなたでも参加いただけます。どうぞお気軽にご参加ください。

◆日時/11月28日(土)10時~16時30分

◆場所/霞城セントラル(山形市)

◆実施内容/①地域の外国人との共生を考える②学校の教員向け「国際理解教育活用編」③「世界がもし100人の村だったら」④国際交流員

と話そう!⑤新・貿易ゲーム⑥貧困のサイクルを断ち切るには?

◆申込方法/山形県国際交流協会ウェブサイトの申込フォームより

※お問い合わせは、公益財団法人山形県国際交流協会 ☎023(647)2560まで



「いつの間にか、すっかり肌寒くなってきました。夏まつりも秋まつりもあつという間に過ぎ去り、気がつけば周囲の山々も彩り豊かな秋の装いに。そう、もう秋なのです。秋といえば、食欲の秋!町の秋の味覚にまつわるイベントは、どこに行っても大盛況です。私自身10月はラ・フランスなどの果物をはじめ、やまがた地鶏に新そば、そして定番の芋煮まで、秋の味覚を存分に堪能した1カ月でした。ところで山形の芋煮といえば、北海道のジンギスカンに匹敵する「県民食」ですが、地域によって味付けがまったく違うというのも不思議なものです。芋煮の最後にカレーを入れる慣習は、どこまで定番なのでしょう? この先何十年、何百年か後には、「芋煮カレー」も「伝統食」になつていくのでしょうか。

(伊藤智治)

★お詫びと訂正...広報おえ10月号の「輝いて今」のコーナーで、第57回こども県展に入選した鈴木雄真くん(さくら保育園)のお名前が掲載されていませんでした。また、「善意いただきました」の記事で「株式会社茂木石油」様とご紹介しましたが、正しくは「茂木石油株式会社」様でした。お詫びして訂正いたします。

思い出の

まいぞうひん

My 蔵品

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



37年前、私が中学2年生の時の写真です。10区天神様の前で御免町囃子座屋台に集まる人々との思い出の写真です。

40年ぶりに復活した屋台は、バラバラの状態にあったモノを組み立てた後、漆を塗り金箔を貼って、お色直しをしたものです。その屋台の上で奏でられる三味線、太鼓、鼓、しの笛、鉦、拍子木の音に、町民の人たちは両手を合わせて拜んでいました。

私にしの笛を教えてくれた方は、公平作乃助氏、渡辺亥三郎氏の両氏でしたが、教えてくださるたびに、曲が違っていたのを覚えています。指導して下さった方々は、40年前の音を探しながら、記憶をたどりながらの自問自答の繰り返しだったに違いないと思います。あの当時、しの笛の音を書きとめていた楽譜が、今日の御免町囃子座・内町囃子屋台の原曲となっています。

昨年から、上山市の踊り山車振興会の皆さんが、お囃子を復活させたいとのことで見学に来られています。どうかこの囃子座が末永く孫末代へと受け継がれるよう、切に願ってやみません。

(御免町囃子座・お囃子総括指導者 12区 明石永七)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？ 懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。総務課情報システム係 ☎(62) 2187まで、ぜひお知らせください。

戸籍のまど

9月21日～10月20日受付分

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
蛸水	鈴木 昂	男	伸・和
貫見	鹿股 れい	女	桂一・明子
みなみ	大泉 亙	男	毅・由紀

ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
(13区)	公平 高広
(山形市)	齋藤 真紀
(天童市)	今野 純一郎
(貫見)	池田 あゆ
(貫見)	池田 敬太
(1区)	柏倉 夕夏
(諏訪原)	林 隆弘
(伏熊)	佐竹 望

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
9区	佐竹 トモエ	(82)
月布	大泉 きみよ	(79)
市の沢	清野 純子	(46)
9区	清野 辰連	(87)
若原	鈴木 おとり	(89)
9区	加藤 芳子	(93)
9区	白田 ユキ	(95)
用	斉藤 政雄	(90)
9区	阿部 ハナ子	(91)
橋上	柏倉 清次郎	(82)
9区	小松 嘉代子	(95)
用	齋藤 徳三郎	(77)
小見	伊藤 健吉	(87)
9区	菊地 幸子	(91)
小漆川	菊地 加貴男	(86)
9区	高橋 一雄	(83)
10区	伊藤 良一	(88)

人口と世帯(前月比)

町の人口	8,727人(-21)
男	4,312人(-14)
女	4,415人(-7)
世帯数	2,918戸(-3)

平成27年11月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。